

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年7月24日 No.13 国際会議まであと9日

NPT参加の青年中心に国際会議にあつまろう!

全教・ニューヨーク行動参加の青年組合員を3人派遣!

NPTニューヨーク行動に参加し、国際連帯を経験した青年組合員の参加を要請してきた全日本教職員組合(全教)の姿勢に呼応して、全教青年部事務局長の井村さん、都教組の和泉さん、高知県教組の畦地さんが参加することになりました。国際会議では、青年らしい率直な意見を表明する予定で準備しています。3人の決意を紹介します。

井村了介(全教青年部事務局長)

NPTニューヨーク行動に参加して感じたのは、草の根のとりくみが国際政治にしっかりと届いていること、そして長年にわたる日本の核兵器廃絶運動が、反核平和で連帯する世界の人々を励ましているということです。これから私たち若い世代が、どうこの問題と向き合い、思いを共有し、手をとりあっていくか。国際会議に参加して学び、そのことをじっくり考えてきたいと思います。

和泉 航(都教組北多摩東支部)

NPT再検討会議に参加し、核なき世界は実現するという思いを強く感じました。同時に、草の根の運動の大切さも強く感じました。国際会議に参加して、ニューヨークで感じたこと、学校現場でできることを伝えたい。一つの願いに世界の人々が集まる、熱いヒロシマを感じてきたいと思います。

畦地正章(高知県教組幡多教組)

NPT行動に参加して、世界中の多くの人々が核廃絶を願っていることを実感できました。私の住んでいる高知県幡多地区の「幡多高校生ゼミナール」の活動の中で、ビキニ諸島での水爆実験が及ぼした被害が、第五福竜丸にとどまらず、1000隻を超える漁船やタンカーなどにも及んでいることを明らかにしてきました。また、最近になって、「死の灰」がアメリカ本土にも繰り返し大量に降っていることが確認されるアメリカ原子力委員会の記録が明らかになりました。アメリカを含めた多くの核実験の被害者や被害国が連帯して、核廃絶を訴えていくことで道が開けるのではないのでしょうか。このことを訴えようと思います。

【連載】原水爆禁止2010年世界大会プログラム紹介

世界大会 広島・開会総会

8月4日(水)14:00~16:30 広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

14:00~ 開会宣言・議長団の提案

14:03~ 執行議長就任 自己紹介

14:04~ 海外代表紹介 土田弥生

14:10~ 主催者報告: 富田宏治・起草委員長

14:25~ 来賓あいさつ

・日本被団協: 坪井直 代表委員

・広島市長: 秋葉忠利(時間調整中)

14:45~ 政府代表あいさつ

・ミゲール・ルイスカパーニャス・イスキエルド駐日メキシコ大使

・ムハンマド・シャルル・イクラム・ヤーコブ I A E

Aマレーシア代表理事・I A E A理事会議長

15:10~ NPT・ニューヨーク行動の報告から - NY行動・署名のとりくみの報告

・女性(新日本婦人の会): 長崎大村市の東よね子さん
・青年(全日本教職員組合)

15:25~ 沖縄のたたかひの報告「普天間基地の無条件撤去は沖縄県民の願い」 仲山忠克さん(反戦地主弁護士・弁護士)

15:35~ 海外からの報告

16:00~ 日本からたたかひの報告 - 草の根の報告
・被爆の実相普及、被爆者援護連帯のとりくみ: 小田前恵子さん(愛知ききプロスタッフ)

・米艦船寄港反対・核密約廃棄、核持ち込みノー、米軍基地強化に反対するたたかひ: 北海道、横須賀、岩国
・平和行進通し行進者のみなさん(7名全員)

16:30 終了し休会



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>

携帯電話からもアクセスできます。